

2024年4月28日（日）メッセージアウトライン 「クリスチャンの目指すもの」

聖書箇所：Iヨハネ3：1～3

タイトル：「クリスチャンの目指すもの」（キリストに似た者に）

初めに：エデンの園で神のたった一つの命令に背いた結果、人間はエデンの園から追放され、神との関係が断たれた。残ったのは神に逆らったという具体的な罪の事実と、罪の性質であった。

神は、人間が罪のゆえに神から離れ、永遠の滅びに向かうことを良しとはなさらず、人間を救うためのご計画をお立てになった。

神に背いた人間のために救い主を送るという神の約束は、ついに約2千年前に果たされた。神の御子イエス様がこの地上に人として来てくださり、私たち人間の罪の全てを背負って十字架で死んでくださり、罪の贖いをしてくださり、死者の中からよみがえられた。イエス様を信じる者は罪赦され、永遠のいのちに与り、神とともに歩む人生をスタートさせていただいたのだ。

本日は、クリスチャン人生の三つの段階、新生、聖化、栄化について考えてみよう。イエス様を信じて、罪赦されて、永遠のいのちをいただきましたで終わらない、さらなる主の恵みをクリスチャンとして体験させていただこう。

1. 新生（Iヨハネ3：1～2a）

①人間の子どもとして両親のもとに生まれた（肉体的な誕生）

*この時、私たちにはこの親から生まれたという認識はない。大きくなるにつれて、親だと認識するようになり、甘えたり、反抗したりしながら、いろいろなことを学んで成長していく。

②イエス様を救い主と信じて神の子とされる（霊的誕生）

*イエス様こそ神の独り子であられ、私たちの罪の身代わりとなって十字架の上で死んでくださり、三日目に死者の中からよみがえられて、罪にも死にもサタンにも打ち勝ってくださった勝利の主であると信じて、私たちは救われたのだ。これを霊的新生と呼ぶ。

③霊的誕生をした後に

*罪赦されて、神の子とされ、神様とのいのちの関係に入ったという事実は、紛れもない現実。

*人間の子には肉体の糧が必要であるように、神の子どもとなった霊の幼子にも霊の糧が必要。私たちがイエス様を信じた時に、神様は私たちに聖霊様をあたえてくださり、この聖霊様は私たちに神様の言葉を正しく教えてくださり、また神様にお従いする力も与えてくださっているのである。

*イエス様を信じた者を神様は「義」（すなわち、一度も罪を犯したことの無い者）

として認めてくださった。これこそ神の子の資格である。

*神の言葉と自分の現実のはざままで

「神から生まれたものはだれも罪を犯しません。神の種がそのうちにとどまっているからです。そのひとは神から生まれたので罪を犯すことができないのです。」

(Ⅰヨハネ3：9)と記されている。

さらに、「あなたがたは聖なる者でなければならない。わたしが聖だからである。」

(Ⅰペテロ1：16)というみ言葉が追い打ちをかける。

*キリストに似た者に造り変えられ続けていく信仰の旅路のスタート

2. 聖化 (聖なる者へ——キリストに似た者に造り変えられていく過程)

①「キリストにこの望みを置いている者はみな、キリストが清い方であるように、自分を清くします。」Ⅰヨハネ3：3

しかし、清くなれない現実

②救われた後も罪を犯し続けてしまう背景にあるもの (原罪→罪の性質、古い自我)

*犯してきた罪は赦された、しかし、救われた後も罪をなぜ犯し続けるのか？

ある意味では私たちが自分の罪深さに気づくのは救われた後であることが多い。

*私たちの罪の性質は根深い。その自分の根っこにあるものに気づかされたときこそ、聖なる者に造り替えられる一歩なのである。

聖なる者への真の一歩は、パウロの「私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。今私が肉において生きているいのちは私を愛し、私のためにご自分を与えてくださった、神の御子に対する信仰によるのです。」(ガラテヤ2：19b～20)という信仰告白を自分のものとするところから。

聖書を通して神様はどのように語り、どのように願っておられるのかを悟り、自分の考えを捨てて神に従う一歩を踏み出す時、聖きお方イエス・キリストに似た者に造り変えられていくスタートラインに着くのである。

3. 栄化 (キリスト者の希望) Ⅰヨハネ3：2「私たちはキリストが現れた時に、キリストに似た者になることは知っています。」

①主の再臨は私たちの救いの完成を意味する。霊的な領域だけでなく、私たちのからだも贖われて栄光のからだに変えられるというのが聖書の約束である。

②「私たちはみな、覆いを取り除かれた顔に、鏡のように主の栄光を映しつつ、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられていきます。これはまさに御霊なる主の働きによるのです。」(Ⅱコリント3：18)

*クリスチャンとして与えられた新たないのちを日々きよめられつつ、主に似た者とされるその完成の日を目指して歩んで行こう！